

【参考資料】

第155回エイズ動向委員会
委員長コメント

《令和元年 HIV感染者・AIDS患者の年間新規報告数（確定値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は、令和元年の約1年間
2. 新規HIV感染者報告数は、903件（過去20年間で、14番目の報告数）
3. 新規AIDS患者報告数は、333件（過去20年間で、17番目の報告数）
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は1,236件（過去20年間で、14番目の報告数）

【感染経路・年齢等の動向（確定値）】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが651件（全HIV感染者報告数の約72%）
 - 異性間性的接触によるものが136件（全HIV感染者報告数の約15%）
 - 静注薬物によるものは2件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、特に20～40歳代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが180件（全AIDS患者報告数の約54%）
 - 異性間性的接触によるものが56件（全AIDS患者報告数の約17%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは1件
 - 年齢別では、特に30～50歳代が多い。

【検査・相談件数の概況（令和元年1月～12月）】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数（確定値）は142,260件（過去20年間で、5番目の件数）
2. 保健所等における相談件数（確定値）は129,695件（過去20年間で、15番目の件数）

《まとめ》

1. 令和元年の新規HIV感染者報告数及び新規AIDS患者報告数は、平成29年より減少しており、3年連続での減少となった。
2. 新規HIV感染者及び新規AIDS患者報告の感染経路は、性的接触によるものが8割以上で、男性同性間性的接触によるものが多い。
3. 献血における10万件当たりの陽性件数は昨年と比べて同数であった。血液製剤によるHIV感染を防ぐため、HIV感染症が疑われる場合、国民の皆様には保健所等での無料・匿名検査を利用いただきたい。
4. 新規報告数全体に占めるAIDS患者報告数の割合は、依然として約3割のまま推移している。自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、利便性に配慮した検査相談体制を推進していただきたい。
5. HIV感染症は予防が可能な感染症である。HIVに感染していない者においては、適切な予防策をとること、HIVに感染した者においては、まずは自分の感染を知ることが、個人においては早期治療に、社会においては感染の拡大防止に結びつくため、重要となる。国民の皆様には、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の相談や検査の機会を積極的に利用いただきたい。

大阪市におけるHIV感染の状況について（平成31年）

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者（平成31年1月1日～令和元年12月31日）の報告状況は次のとおりです。

（1）年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
合 計	2330	604	2934

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

（2）感染経路別 HIV感染者・エイズ患者報告数

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	14	2	16(15.0%)
同性間性的接触	65	13	78(72.9%)
静注薬物使用	0	0	0(0.0%)
母子感染	0	0	0(0.0%)
凝固因子製剤(注)	0	0	0(0.0%)
その他	2	1	3(2.8%)
不明	6	4	10(9.3%)
合 計	87	20	107

（3）国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
男性（日本人）	70	18	88
（その他）	14	1	15
（不 明）	0	1	1
女性（日本人）	3	0	3
（その他）	0	0	0
（不 明）	0	0	0
小計： 男性	84	20	104(97.2%)
女性	3	0	3(2.8%)
合 計	87	20	107

（4）年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	0	0	0
20歳代	28	3	31
30歳代	31	7	38
40歳代	22	3	25
50歳代	2	5	7
60歳以上	4	2	6
合 計	87	20	107

（5）感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	71	15	86
海 外	12	0	12
不 明	4	5	9
合 計	87	20	107

大阪市におけるHIV感染の状況について(累計)

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(累計;平成元年2月17日～令和元年12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1)年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
合 計	2330	604	2934

注)後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

(2)感染経路別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	279	115	394
同性間性的接触	1858	377	2235
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤(注)	0	0	0
その他	44	21	65
不明	141	89	230
合 計	2330	604	2934

(3)年齢区分(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	29	2	31
20歳代	829	74	903
30歳代	893	179	1072
40歳代	405	178	583
50歳代	107	114	221
60歳以上	67	57	124
合 計	2330	604	2934

(4)国籍・性別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	2119	563	2682
女性	37	6	43
その他・不明 男性	138	22	160
女性	36	13	49
合 計	2330	604	2934

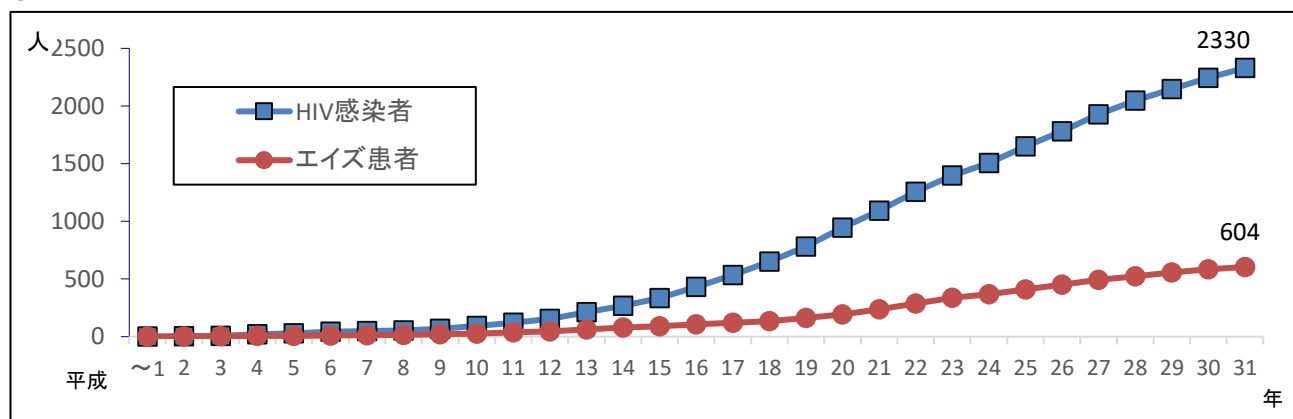
(5)感染地域別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	2088	490	2578
海 外	98	33	131
不 明	144	81	225
合 計	2330	604	2934

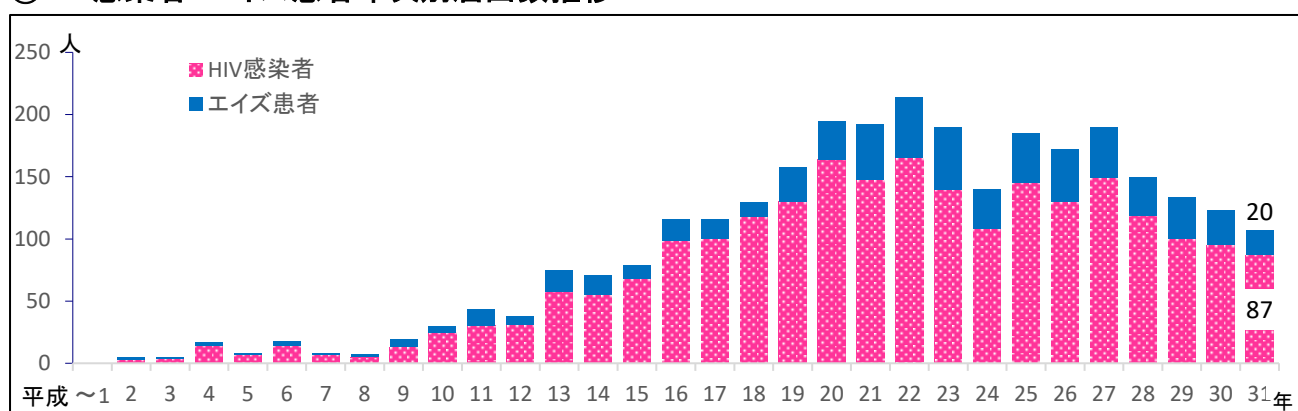
大阪市におけるHIV感染の状況について(平成31年)

(平成元年2月17日～令和元年12月31日診断届出分)

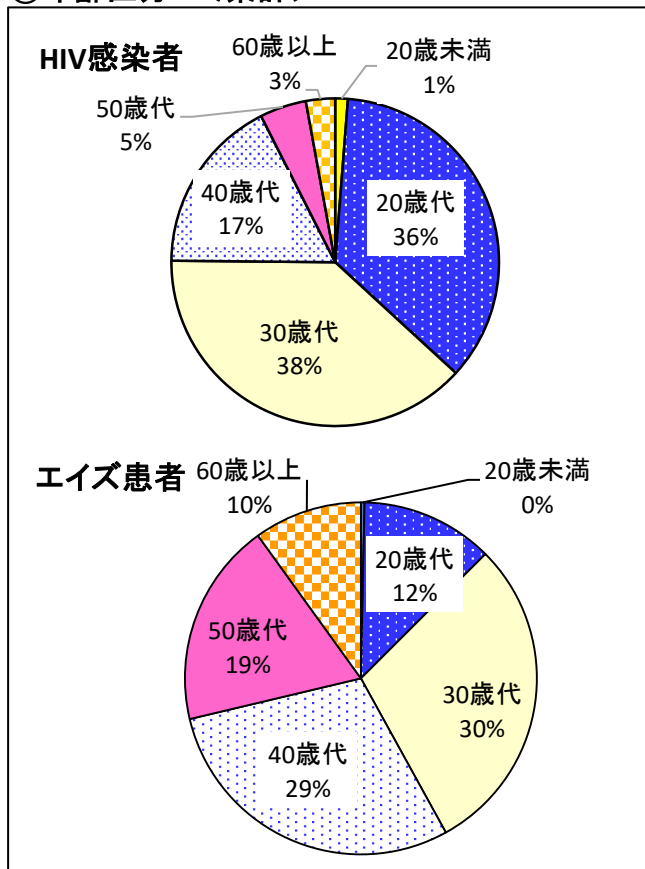
①HIV感染者・エイズ患者の年次推移<累計>



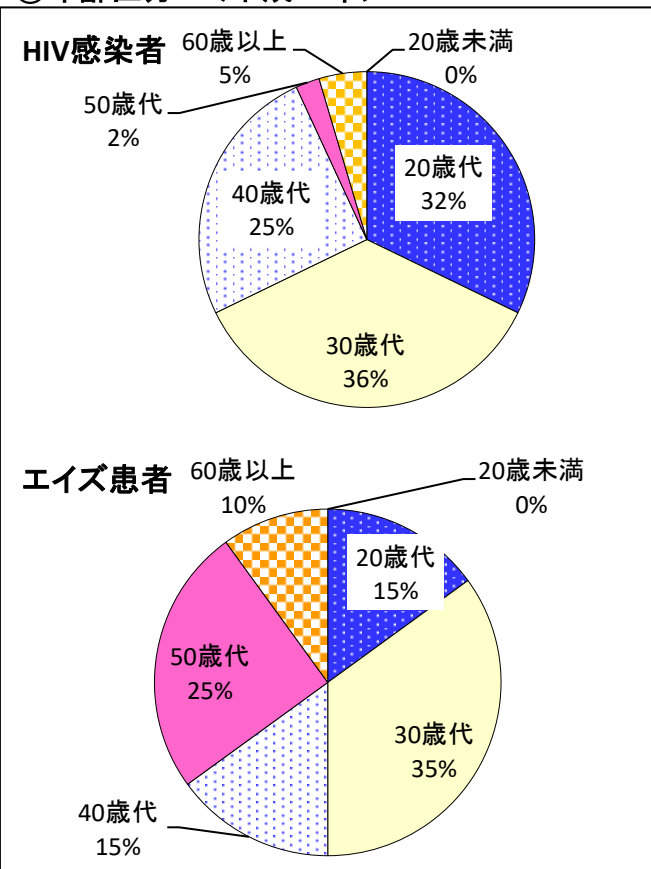
②HIV感染者・エイズ患者年次別届出数推移



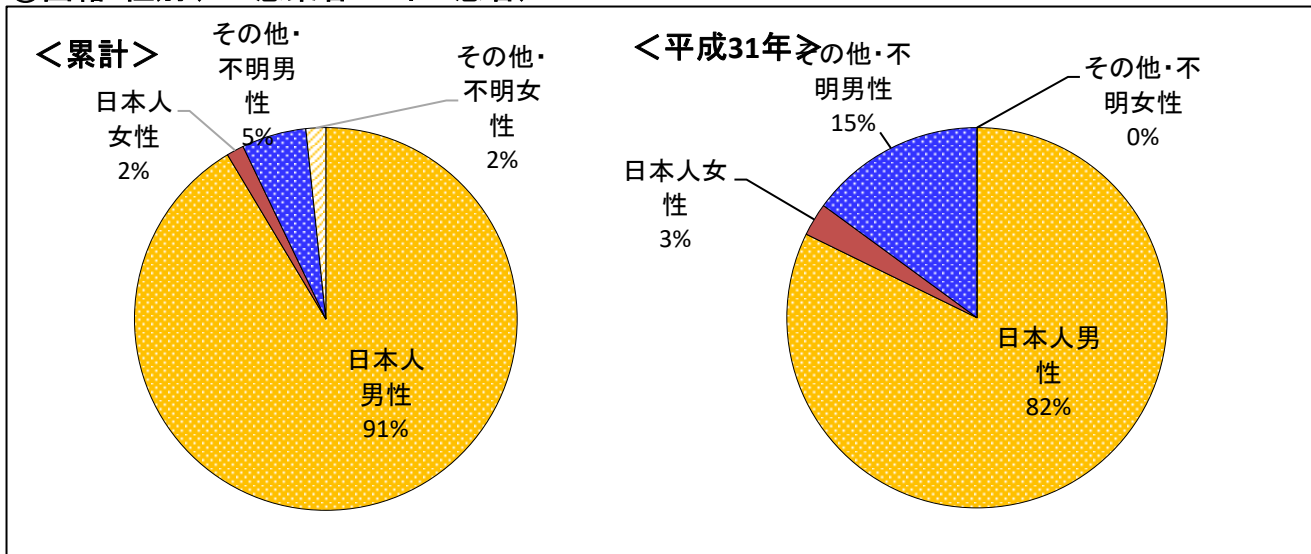
③年齢区分 <累計>



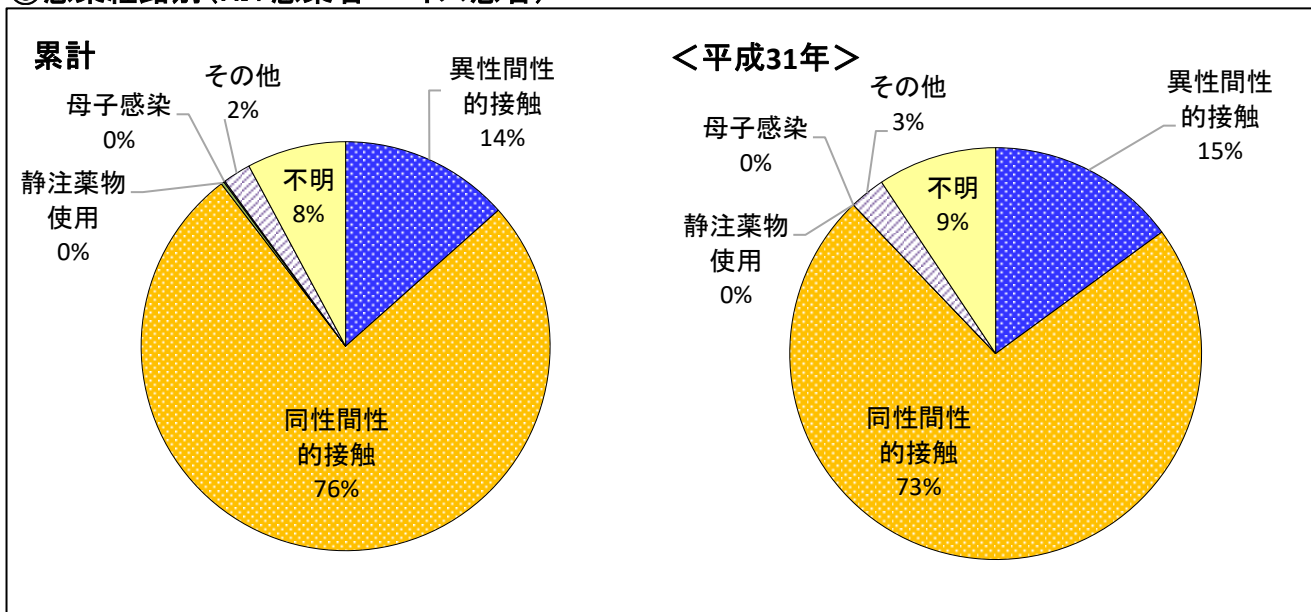
④年齢区分 <平成31年>



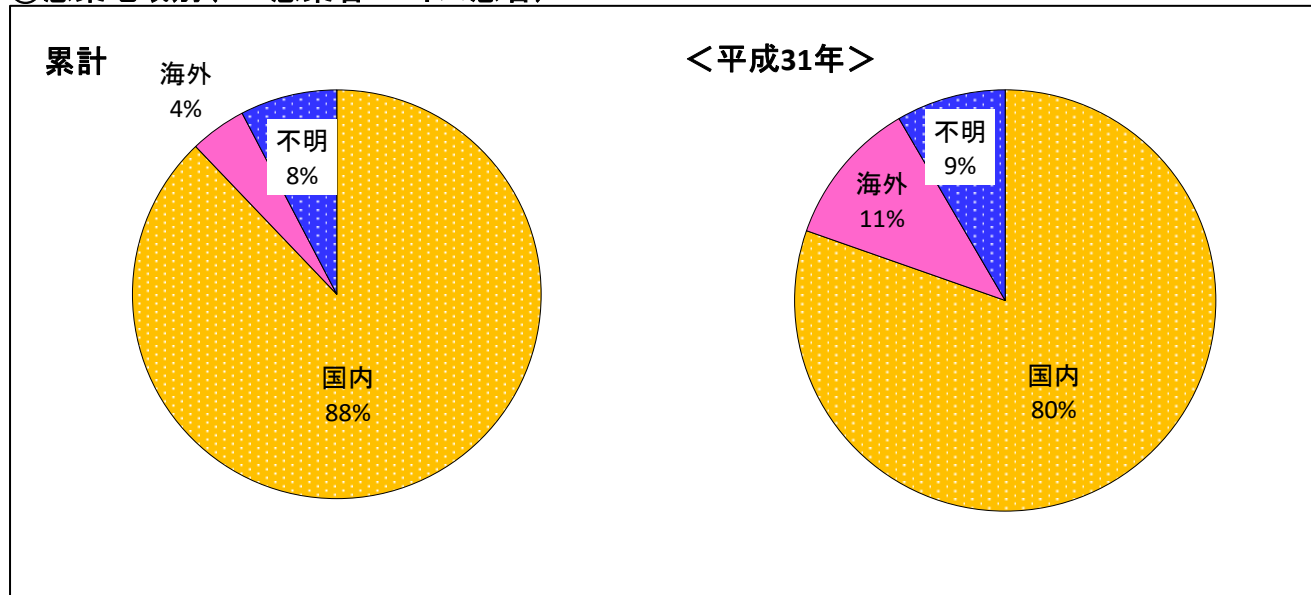
⑤国籍・性別(HIV感染者・エイズ患者)



⑥感染経路別(HIV感染者・エイズ患者)



⑦感染地域別(HIV感染者・エイズ患者)



新規報告数(HIV感染者＋エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合

